

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

2018年6月号

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第595号

教会においてマーケティングという言葉が馴染まないことは承知をしていながらも、その相関性を思うことがしばしばあります。

ビジネスの世界で何かサービスを提供して居る企業は、まず自分たちのサービスを必要として居るのはどのような人たちだろうかと考えます。また現在わが社のサービスを利用している人たちはそのサービスのどこに満足し、どこに不満を持っているのだろうか、それを知りたいと思います。また現在のサービス利用者たちは友人や知人にわが社のサービスについてどのように話をしてくれているのかということも気になります。まずそれらを理解することが事業を展開して行く上での出発点になります。

ますます住み難くなって来ている日本の社会において、救いを求めている人たちが居るとすれば、どのような人たちであろうか？ またその人たちに教会は自ら手をさしのべているだろうか？ 教会に属して居る人々自身がいま

の教会に満足しているのかどうか？ またクリスチャンであることを明確にして、クリスチャンではない多くの人たちにどう語りかけているのだろうか？ といったことを考えると企業が考えるマーケティングと私たち教会のありかたとは似たところがあるようにも思えます。私たちは決して「閉ざされた教会」という

マーケティング

関西セミナーハウス活動センター運営委員



網野 俊賢

意識は持っていません。教会に来る人たちが居れば大いに歓迎し、また次回も礼拝に参加して欲しいと心から願います。しかし教会の門を叩かない人々にだけ働きかけをしているかと言えば心もとなめばイエス・キリストやその弟子たちが、当時としては行くのに長い時間が掛かり困難

活動についても似たようなことが言えるように感じます。アカデミー創設のころから

日本社会は大きく変化しました。しかしアカデミーが希求したことは現在に於いてもその意味を失っていません。私

たちはアカデミーの精神を受け継ぎつつも社会の変化に対応したアプローチをしようとして貴重なプログラムを提供して居るのも事実です。それ

と同時に「常に変化する社会

のどのようなニーズにアカデミーは応えるべきなのか？」「人々がアカデミーに期待することがあるとすれば、それは何なのか？」「私たちが良かれと思つて提供している種々のプログラムが、参加してくれる人たちが、また参加してくれない人たちにどのように映っているのか？」と私たち自身が虚心坦懐に評価すべき時期であるかと思ひます。

「私たちのプログラムに参加してくれた人々がまた参加しようと思つてくれるようにするにはどうすれば良いのか？」と言つたことなども交えてマーケティングの基本と言ふべきものに立ち返つて考える必要があるのではないかと、運営委員の一人としていつも自分に問い掛けています。

こうしたマーケティングの基本に照らした議論を深め、更には私たちも修学院の山から下りて、教会コミュニティを初め多くのの人たちに接する機会をもつと持つべき時かもしれません。

(関西国際大学学長特別補佐)

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

2017 年度事業報告 (総括)

当財団の 2017 年度の実業活動は、以下の通りである。

1. 事業の推進

1) 公益目的事業

(1) 関東活動センター、関西セミナーハウス活動センター

①フォーラム事業及び研修・セミナー・体験交流事業を継続し、発展させた。

②アカデミー運動の理念に従って今日的な社会の課題に対する認識を深め、それにふさわしい新規プログラムの開発に取り組んだ。

(2) 関西セミナーハウス

①当財団の実業展開の拠点として、関西セミナーハウス活動センターの公益目的事業に施設を提供した。

②当財団の目的達成に資する諸団体が行う公益目的事業を支援するため、宿泊施設及び会議場を諸宗教団体、労働組合、文化・社会活動団体、教育機関・学会・研究会等に供した。

(3) 広報活動

①関東活動センター、関西セミナーハウス活動センター及び関西セミナーハウスの活動状況につ

いて、機関紙「はなしあい」、ウェブサイト等によって継続的に情報を発信した。

②機関紙、ウェブサイト等により、年度事業計画、収支予算、事業報告、決算報告、その他当財団に関する情報を公開した。

2) 収益事業

(1) 関西セミナーハウス

公益目的利用外の一般利用者、企業等への宿泊研修施設の貸出を行い、その収益の一部を公益活動に資した。

(2) 日本キリスト教会館

当財団所有の事務所用物件の一部を貸与し、その収益を公益活動に資した。

2. 事業運営推進

公益目的事業の推進に当たっては、継続的事業、新規プログラムを問わず、予算計画を持ち、必要財源を確保しつつ、安定的継続可能な運営を行った。

3. 賛助会員、寄附金

公益法人への寄付により受けられる税制優遇措置を活用し、アカデミー運動を支援する賛助会員および寄附者からの支援を仰いだ。

正味財産増減計算書

2017 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,200	3,008	△ 1,808
特定資産運用益	19,589	19,745	△ 156
受取會費	919,700	1,358,000	△ 438,300
事業収益	140,042,547	113,105,634	26,936,913
受取寄付金	5,631,802	4,233,457	1,398,345
雑収益	151,710	249,685	△ 97,975
経常収益計	146,766,548	118,969,529	27,797,019
(2) 経常費用			
事業費	144,759,544	136,287,017	8,472,527
管理費	3,958,656	2,898,197	1,060,459
経常費用計	148,718,200	139,185,214	9,532,986
当期経常増減額	△ 1,951,652	△ 20,215,685	18,264,033
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	55,482	0	55,482
当期経常外増減額	△ 55,482	0	△ 55,482
当期一般正味財産増減額	△ 2,007,134	△ 20,215,685	18,208,551
一般正味財産期首残高	392,145,774	412,361,459	20,215,685
一般正味財産期末残高	390,138,640	392,145,774	△ 2,007,134
II 正味財産期末残高	390,138,640	392,145,774	△ 2,007,134

関西セミナーハウス活動センター

●2018年度 修学院フォーラム「社会」第1回
「宗教と戦争を考える」第5回
「新渡戸稲造の平和」

大阪市立大学名誉教授 佐藤 全弘さん
2018年4月21日(土)



「宗教と戦争を考える」シリーズ3回の「キリスト教はなぜ戦争について容認するようになったのか?」において土井健司氏は、4世紀にキリスト教がローマ帝国に公認されると、それと引き換えに教父のアウグスチヌスらは、正義のための戦争は許されると説くようになり、以後キリスト教会は、世界各地に広がり政治の中枢部にまで影響を与えるようになった後も、この考えに立ち続けた」と語った。それに対し、アウグスチヌスの正戦論に立たない群れもある、とメノナイト派の牧師が注意を喚起した。主流派の正戦論に立たず、初代教会以来の非戦論に立つ少数派には、メノナイト以外にもクエーカー派や内村鑑三の流れをくむ無教会がある。内村鑑三については、すでにこのシリーズの第4回で取り上げた。今回は、クエーカー派の信徒として生涯世界平和のために尽力した新渡戸稲造について、新渡戸稲造全集の編集責任者も務めた佐藤全弘氏に語って頂いた。

新渡戸は、1988年に内村鑑三と共に札幌農学校を卒業した後渡米し、ジョンズ・ホプキンス大学に学び、在学中に25歳でクエーカー教徒となり、30歳でクエーカー教徒のメリー・エルキントンと結婚し、以後共に誠実なクエーカー教徒として歩んだ。

彼はドイツのハレ大学で学位を得たのち30歳で帰国し、札幌農学校教授、台湾総督府技師、京都帝国大学教授、第一高等学校校長、東京帝国大学教授、東京女子大学学長などを歴任した後、1919年に58歳で国際連盟事務局次長に就任し、以後国際平和のために全力を傾注した。

第一次世界大戦で悲惨な戦争を経験した世界は、再びその惨禍を繰り返さないために国際連盟を設立した。その事務局次長となった新渡戸は、各地の紛争を収めるために奔走した。例えば、長い間紛争の絶えなかったスウェーデンとフィンランドの間の数百の島からなるオーランド諸島については、関係諸国を訪ね、それぞれの主張を聴き、1921年そこを非武装中立で、兵役無し、関税無しの自治領とする提案を行い、関係国の合意を取り付け、戦争勃発を防いだ。1924年には「子供の権利に関するジュネーブ宣言」を出し、これは1989年に「子供の権利条約」として結実した。さらに彼は、戦争防止、平和維持、平和推進のためにベルギーや

日本各地を講演して回り、その聴衆は延べ5万人を越えた。1926年に国際連盟事務局次長を退いた後も、日米関係が険悪になっていく時アメリカを訪れ、100回以上も日本文化について講演し、日米の相互理解に努めた。さらに1929年からは太平洋問題調査会の日本理事長となり、米、カナダ、豪、ニュージーランド、ハワイ、英などの代表者と、政治的重要課題について語り合い、平和のために尽力したが、1933年カナダのバンフで行われた会議に出席した後ヴィクトリアで倒れ、その生涯を終えた。



彼は、軍部が台頭し言論統制が厳しくなった1930年代にも、英文で戦争反対の意見を公表し続け、1933年の亡くなる直前には次の記事を英文大阪毎日・東京日日新聞上に書いた。

「全人類が兄弟となり、戦争が人類を引き裂くことはなく、戦争の噂が女性の心に未来の夢を抱かせることもない未来の夢を私は見る。……偉大なる夢想家が見た夢で、無駄だった夢はない。偉大なる夢でそれに姿を与える実際の天才がみつからなかったものはない」

これらの新渡戸の平和への熱情と、それを実現するために生涯をかけた献身は、聴く者の心を圧倒した。この新渡戸の平和への願いと行動が、現代にしっかりと受け継がれて行くことが望まれる。



プログラム案内

◆**関東活動センター**

■**2018年度聖書を読む講座I**

新しい聖書の学び「マルコ福音書をじっくりと読む」(第1期)(全10回)

講師：山口里子さん(日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

日時：4月～2019年2月(8月休会)
第2火曜18:30～20:00
④7月10日、⑤9月11日

会場：早稲田奉仕園スコットホール222号室

参加費：1,200円/学生500円
共催：早稲田奉仕園

■**2018年度関東フォーラム 宗教対話I**

「日本キリスト教史を読む」II(大正篇全7回)

講師：戒能 信生さん(日本基督教団千代田教会牧師)

第3回「高倉徳太郎 その自我との闘いの生涯」

日時：7月12日(木)14:00～16:00

第4回「金井為一郎 その神秘主義的信仰と祈りの姿勢」

日時：9月13日(木)14:00～16:00

会場：早稲田奉仕園セミナーハウス101号室

参加費：1回500円

■**2018年度関東フォーラム 宗教対話III**

「編集者とその本音を語る」第1回
伊東正道さんに聞く

「宣教の課題としての『信仰の二元論』東日本大震災の取材で見たこと」

講師：伊東正道さん(元・日本キリスト教団出版局編集者)

財団本部 <http://www.academy-nippon.com>
関東活動センター <http://www.academy-tokyo.com>
関西セミナーハウス <http://www.kansai-seminarhouse.com/>
関西セミナーハウス活動センター <http://www.academy-kansai.org>

公益財団法人 日本キリスト教アカデミー

代表理事 小久保 正

本部事務局

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
TEL 075-711-2147
FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館1F
TEL 03-3207-6198

E-mail: info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス/

関西セミナーハウス活動センター
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

TEL 075-711-2115

E-mail: info@kansai-seminarhouse.com

関西セミナーハウス活動センター

TEL 075-711-2117

E-mail: office@academy-kansai.org

日時：6月22日(金)18:30～20:30

会場：カフェ・エクレシア
東京都台東区蔵前2-7-6

参加費：1,500円 定員：20名

◆**関西セミナーハウス活動センター**

■**2018年度お茶のこころと宗教のこころ**
「聖書をいっしょに読みましょう」

座長：榎本 栄次さん(日本基督教団牧師)

日時：④7月5日、⑤9月6日(全8回)
第1木曜13:30～16:30

会場：関西セミナーハウス

参加費：1回1,500円 学生500円
(抹茶含む)

■**2018年度修学院フォーラム「社会」**

第3回「民族主義と普遍主義のはざままで：旧約聖書から国際平和を考える」

講師：月本 昭男さん(上智大学特任教授)

日時：6月30日(土)13:30～17:30

会場：関西セミナーハウス

参加費：2,300円、学生1,000円
(コーヒー込)

■**2018年度修学院フォーラム「いのち」**

第1回「老いの日をいかに生き、支

えるかー2」

「往きの医療 vs 還りの医療—わたしたちはどんな死に方をしたいのか?」

講師：島田 宗洋さん(救世軍清瀬病院名誉院長)

日時：7月7日(土)13:30～17:30

会場：関西セミナーハウス

参加費：2,300円、学生1,000円
(コーヒー込)

■**2018年度開発教育セミナー**

第2回「ビジネスで持続可能な社会をつくる～タオルから織りなす豊かな社会」(オプションあり)

講師：池内 計司さん(IKEUCHI ORGANIC 株式会社 代表)

日時：7月14日(土)16:00～15日(日)12:00

会場：関西セミナーハウス

参加費：10,500円(1泊2食、オプション込)

オプション「体験ワークショップ」
「綿繰り、糸紡ぎをしてみましょう」

講師：木綿庵 梅田 正之さん
日時：7月14日(土)13:30～15:00
参加費：1,000円

賛助会費・寄付金報告

2018年5月1日～5月31日

(順不同・敬称略)

◆**財団本部**

寄付金

武藤 高司 10,000

◆**関東活動センター**

賛助会費

全国教会婦人会連合 20,000

松岡 俊彦 5,000

吉田 豊 3,000

西間木 公孝 5,000

高橋 真軌 5,000

小笠原 公子 5,000

戒能 信生 10,000

大橋 祐治 5,000

寄付金

川北 かおり 10,000

石橋 光朗 3,000

神学生交流プログラム寄付金

西間木 公孝 5,000

浦上 充 3,000

◆**関西セミナーハウス**

寄付金

山崎 満 5,000

武田薬品京都農園朝睦会えんじゆ会 10,000

長谷川 義紘 10,000

林 宗一郎 10,000

弁護士 中田 政義 10,000

鳥井 清司 10,000

◆**関西セミナーハウス活動センター**

賛助会費

医療法人わたなベクリニック 10,000

織田 雪江 5,000

比嘉 美智子 10,000

田中 潤治 3,000

山岡 義生 10,000

柳井 繁彌 5,000

橋 俣子 60,000

春名 康範 10,000

真鍋 裕子 5,000

斉藤 洋子 5,000

宇野 稔 5,000

殿村 元一 5,000

佐々木 紘児 5,000

東 千代 5,000

田辺 信子 5,000

佐藤 友紀 5,000

菅 恒敏 5,000

北風 照子 5,000

藤倉 寿美子 3,000

喜多村 やよい 5,000

鳴海 信子 5,000

間瀬 啓允 5,000

大島 順子 10,000

酒井 涼子 5,000

田沼 大典 5,000

中西 和樹 10,000

松田 光代 5,000

手銭 秀夫 20,000

寄付金

柳井 一朗 10,000

川北 かおり 10,000

加山 敬介 3,000

小久保 正 30,000

黒井 久代 10,000

高畑 恵子 3,000

以上、感謝をもってご報告申し上げます。